

## 環境省 「エコツーリズム推進アドバイザー」派遣申請書 /2011年度

財団法人日本交通公社内 「エコツーリズム推進アドバイザー派遣事業」事務局 宛て  
 ※事務局の所在地が移転するため、12/22迄とそれ以降ではFAX番号が異なりますのでご注意ください  
 12/22まで FAX:03-5208-4706 / E-mail:eco-jimu@jtb.or.jp  
 12/24以降 FAX:03-5255-6077 / E-mail:eco-jimu@jtb.or.jp (12/23は移行中のため送信はできません。)

※派遣申請書は4枚ありますので、すべてご記入の上、ご送付ください。

申請日	年	月	日
-----	---	---	---

## Q1 申請地域、団体、担当者連絡先について

①派遣を希望する地域（都道府県、市区町村、広域圏等）をご記入ください。

--

②派遣を希望する団体名（申請団体名）をご記入ください。

※特に団体名がなければ空欄で結構です。

--

③アドバイザー派遣の申請に係るご担当者の連絡先をご記入ください。

団体名			
所属	(部署名)	(役職名)	
ふりがな			
ご氏名			
ご住所	〒		
電話		FAX	
電子メール			

## Q2 アドバイザー派遣の申請について

①アドバイザー派遣申請の背景となっている地域課題及び申請目的をご記入ください。

--

②アドバイスを希望する内容にあてはまるものに○印を付けてください。

エコツーリズムに関する意識啓発、資源の発掘	エコツーリズム（観光を含む）に対する意識・啓発	
	自分たちが暮らす地域に対する意識・啓発、地域住民の参加	
	地域資源の発見・発掘	
ガイド人材の育成、ガイド制度づくり	ガイドの役割に対する認識	
	ガイドの方法	
	ガイドの人材育成と品質維持	
	ガイド認定制度	
	ガイドの後継者問題	
利用と保全の仕組みづくり	ガイド同業者団体の設立	
	利用と保全のルール・仕組みづくり	
	オーバーユースに対するルール・保全手法の改善策	
	保全にかかる費用の捻出策	
	適正な取組地域の範囲（適正規模のゾーニング）	
観光教育の実施	モニタリング	
	環境教育の実施	
地域が協働する推進体制づくり	環境教育の実施	
	エコツーリズム推進の核となる人材の育成・組織の設立	
	多様な主体間の連携、利害関係の調整、合意形成	
	行政と民間との役割分担	
エコツアーの商品化と事業化	他地域との連携	
	エコツアーの作り方	
	エコツアーの情報発信	
フィールド環境の整備・計画	エコツアーを業として成り立たせるための仕組みづくり	
	フィールド環境の整備・計画	
環境省施策・事業の活用	エコツーリズム推進法の活用方法	
（その他、希望する内容があればご記入ください）		

③派遣時期、日数、回数についての希望があればお書きください。

④アドバイザーの人選についての希望があればお書きください。

（※募集要項を参照下さい。なお、掲載されているアドバイザー以外の識者の派遣を希望する場合は、本人の内諾を得た上で、推薦理由、プロフィール、実績等が分かる資料を添付してください。様式は問いません。）

⑤アドバイザーの助言・指導を、貴地域における取組に反映させる方法についてご記入ください。

⑥本事業の募集を知った情報源をご記入ください。（具体的に）

### Q3 貴地域におけるエコツーリズムの取組状況について

①貴地域における現在の活動状況について下記の中から1つだけ選んで○印を付けてください。

1 エコツーリズムへの取組を検討している時期（胎動期）	
2 エコツーリズムへの取組をはじめて間もない時期（始動期）	
3 エコツーリズムに取り組んできて改善が求められている時期（改善期）	

②貴地域において、エコツーリズムに取り組む目的、もしくはこれから取り組もうとする目的についてあてはまるものすべてに○印を付けてください。

1 従来の観光から脱して、新しい地域の魅力づくりを行うため	
2 「自然とのふれあい」を志向する旅行者のニーズに対応するため	
3 地域の活性化に貢献するため	
4 地域資源の保全に対して「来訪者」の意識を高めるため	
5 地域資源の保全に対して「地元住民」の意識を高めるため	
6 地域の将来にわたって「自然環境や文化の保全」が特に重要な点だと考えているため	
7 現在悪化しつつある地域の自然環境や文化の保全に役立てるため	
8 その他（下欄にご記入ください）	

③貴地域において、エコツーリズムの対象となる「自然観光資源」について、あてはまるものすべてに○印を付けてください。また、主な自然観光資源を下欄に具体的にご記入ください。

1 動植物（クジラ、イルカ、ウミガメ、ホタル、チョウ、ブナなどの巨木など）	
2 動植物の生息地・生育地（海鳥の集団繁殖地やサンゴ礁、湿原など）	
3 地形・地質（滝や風穴、噴泉塔など）	
4 自然環境と密接な関連を有する風俗習慣、その他の伝統的な生活文化に係る観光資源（例：棚田、魚垣、半自然草原と火入れ、カバタなど）	
5 これから地域資源の洗い出しをするため、地域資源の把握ができていない （主な自然観光資源）	

④貴地域において、「現在取り組んでいるエコツアーの種類」及び「取り組みを検討しているエコツアーの種類」について該当するものすべてに○印を付けてください。

	現在取り組んでいる	取組を検討している	取り組む予定なし
1 原始的な自然におけるエコツアー （トレッキングツアー、キャンプツアーなど）			
2 地域に特有な野生生物とのふれあい （ホエールウォッチング、野鳥観察会など）			
3 自然の営みにふれる観察会への参加 （星空観察会、自然散策会など）			
4 地球科学的な視点（地形・地質など）から自然や暮らしとの関わりを学ぶ活動（ジオツーリズムなど）			
5 環境教育を主目的とした活動 （修学旅行の体験プログラムなど）			
6 農林業などの体験を通じて自然への理解を深める活動 （植林・下草刈り体験など）			
7 自然や文化に関する解説を受けながら地域を巡る活動 （里山ウォーキングなど）			
8 地域の生活や文化を体験する活動 （里山の管理・再生についての学習など）			
9 環境保全のための貢献活動 （植生回復ボランティアなど）			
10 自然の中でゆったりとした時を過ごしながら自然の恵みを体感する活動（体験滞在型観光など）			

④-2 上記 1～9 以外で、現在取り組んでいるもの、又は検討しているものがあればご記入ください。

現在取り組んでいる	
取組を検討している	

#### Q4 貴地域におけるエコツーリズムの推進組織について

①貴地域におけるエコツーリズム推進組織（エコツーリズム推進協議会等）の有無について該当するものに○印を付けてください。

1 存在する	
2 存在しない	

※①で「1 存在する」と回答した場合、次の「①-2～4」にもお答えください。

①-2 エコツーリズム推進組織の名称をご記入ください。  
 （協議会の役員一覧を本申請書に添付してください。）

①-3 エコツーリズム推進組織の取組状況について該当するものに○印を付けてください。

1 行政が主導的な役割を果たして活動が進められている	
2 地元住民が主導的な役割を果たして活動が進められている	
3 観光等の事業者が主導的な役割を果たして活動が進められている	

①-4 エコツーリズム推進組織の具体的な活動状況について、以下の空欄にご記入ください。

②貴地域をフィールドに活動するガイド組織、エコツアー関連事業者が存在する場合、具体的な組織・事業者名称をご記入ください。また、今後、地域でエコツーリズムを推進していくにあたり、参加や連携が想定される参加者や団体などについて、ご記入ください。

	ガイド組織	エコツアー関連事業者	今後想定される参加者・団体
地域内			
地域外			